

平成29年8月7日

ファスニングジャーナル(2面)に掲載されました

# 日東精工 韓国支店を開設 アジア6ヶ国目グローバル展開加速

日東精工(株)(本社・工場：東京都綾部市・材木正巳社長)では、グループの総合力を活かした総合ファスニング企業の確立と事業拡大を視野に入れ、更なるグローバル展開を加速させる目的から、アジアに6ヶ国目の設置となる「韓国支店」を開設。9月から営業を開始する。

同社は現在、海外に9社の連結子会社と拠点施設を設け、グローバルにモジュールを展開している。今般、海外展開の強化策の一環として韓国の工業集積エリアに新しい拠点を設置し、工業用ファスナー製品(セルフタツピンねじ等)や建築用ボルトを中心に、現地の自動車並びに家電・情報通信関連ユーザへ向けた拡販を目指している。また、同支店は韓国の国内における営業活動に加えて、輸出入機能を有するものとし、韓国製品の日本国内への販売等を通じて、総合ファスニング企業としてのシナジー効果を発揮させ、グループ全体の売上増強を図る方向である。

【韓国支店の概要】  
▽事業所名：日東精工株式会社韓国支店。▽所在：大韓民国仁川広域市桂陽区アナジ路3332、203棟1206号(鶴田洞、ウリムカイザーパレス)。▽営業開始日：平成29年9月1日。▽取扱品目：韓国向け：工業用ファスナー(ギザタイト・アルミタイト等)、建築用ボルトなど。マイクログラブル洗浄装置並びに流量計。日本向け：韓国メーカーの切削品、小ねじ・スプレッスねじ、脱落防止ナットなど。

